

令和 8 年度前期 学校評価の結果

学校評価アンケートへのご協力、ありがとうございました。結果および学校の見解についてお伝えいたします。

評価結果やいただいたご意見等は、校内で検討し、学校運営改善に生かしてまいります。温かい励ましや感謝のお言葉も多数いただきまして、教職員の励みとなりました。重ねて、お礼申し上げます。

【グラフや数値の説明】

※グラフ下の数値は４段階評価の平均値です。

※割合を示す数値は小数点第一位を四捨五入しています。

※記述内にある保護者の割合は「？の回答」を除いて算出しています。

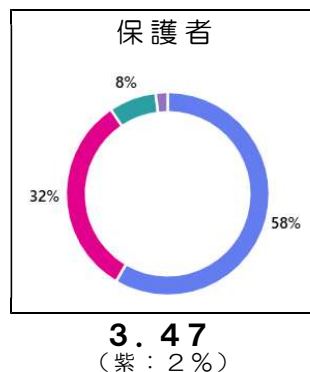
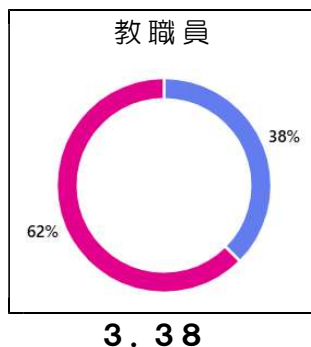
※グラフの色の内訳～４：青 ３：赤 ２：青緑 １：紫 ？：緑

※％値が小さく、グラフ内に数値を表示されない場合は、グラフ下部に記載しています。

教職員	４：よく当てはまる	３：やや当てはまる	２：あまり当てはまらない	１：全く当てはまらない	
保護者	４：よく当てはまる	３：やや当てはまる	２：あまり当てはまらない	１：全く当てはまらない	？：わからない
児童	４：そう思う	３：少しそう思う	２：あまりそう思わない	１：ぜんぜんそう思わない	

1 楽しい学校

教職員	児童が、「学校が楽しい」と思える教育を推進している。
保護者	お子さんは、学校に行くことを楽しみにしている。
児童	学校に行くことを楽しみにしている。

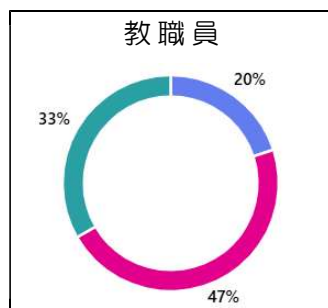


【分析】

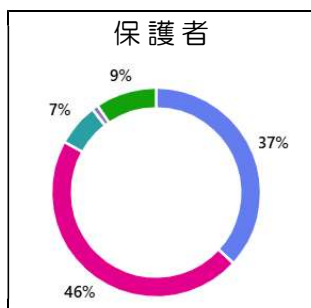
- ・肯定的回答が教職員は100%。保護者と児童は約90%で、強肯定（4と回答）が両者とも50%以上である。
- ・肯定的な回答は、教職員100%で前年度と同じ。保護者90%（前年度83%）と児童89%（前年度84%）で向上。

2 児童の資質・能力の向上（主体的に学ぶ子ども）

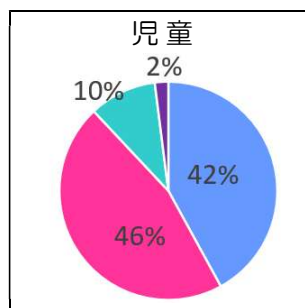
教職員	自ら選択、決定するなど、授業を通して主体的に学ぶ子どもを育てている。
保護者	学校は、自分で学び方を選んだり決めたりする授業を通して、主体的に学ぶ子どもを育てている。
児童	授業では、自分で学び方を選んだり決めたり、すすんで考えたりしている。



2. 87



3. 31
(紫：1%)



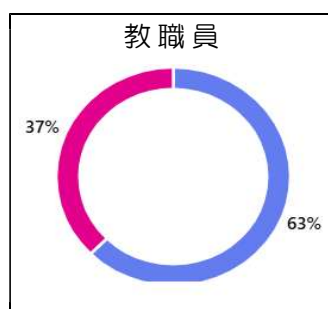
3. 28

【分析】

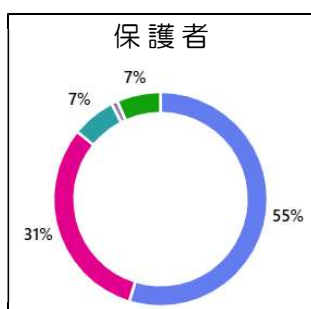
- ・教職員の肯定的回答は67%（前年度94%）と低く、課題がある。
（※質問内容が多少異なるので単純比較はできない）
- ・保護者の肯定的回答は92%（前年度91%）で前年度と同等、児童は88%（前年度94%）でやや低下している。

3 児童の資質・能力の向上（自己存在感の育成）

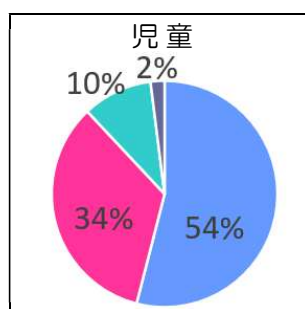
教職員	子どもたちの活躍の場を設けたり、良いところをほめたりして、子どもたちの自己存在感を育てている。
保護者	学校は、子どもたちの活躍の場を設けたり、よいところをほめたりして、子どもたちの自己存在感を高めている。
児童	学校生活の中で活躍する場面あったり、先生や友だちがほめたり認めたりしてくれる。



3. 63



3. 49



3. 41

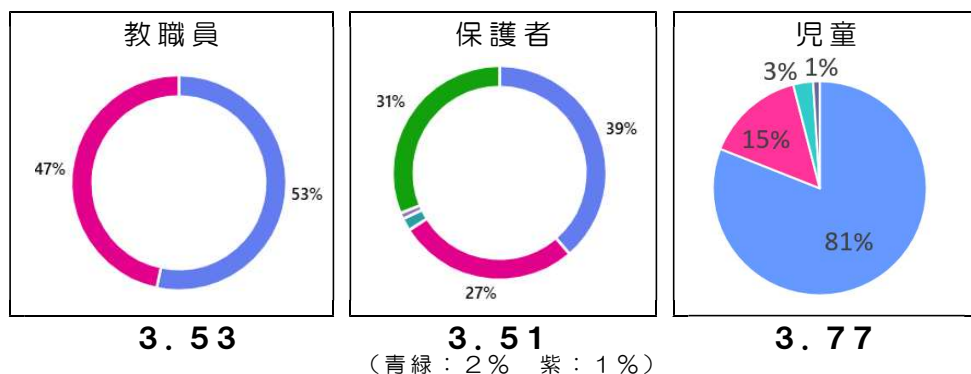
【分析】

- ・肯定的回答が、教職員100%（前年度89%）、保護者92%（同91%）、児童88%（同96%）。（※質問内容が多少異なるので単純比較はできない）

- ・三者とも強肯定が５０％を超えている。
- ・１２％の否定的回答をした児童のアセスメントや支援が必要。

４ いじめ・不登校等への対応

教職員	いじめや不登校、問題行動等に対して適切な支援や指導を行ったり、相談にのったりしている。
保護者	学校は、いじめや不登校、問題行動等に対して適切な支援や指導を行ったり、相談にのったりしている。
児童	先生がたは、いじめやいろいろな問題に対してしっかりと指導したり相談にのったりしてくれる。

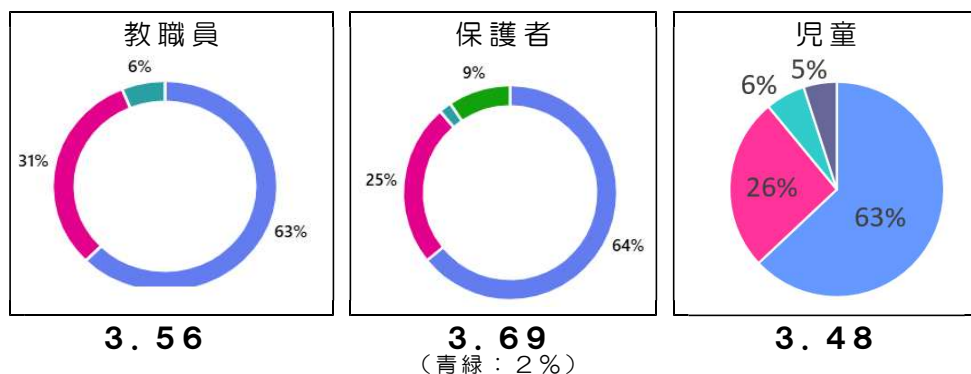


【分析】

- ・肯定的回答は、教職員が１００％（前年度は項目なし）。保護者と児童が９６％となっており、高い数値である。
- ・特に児童の強肯定は８１％となっており、注目に値する。
- ・「わからない」と回答した保護者が３１％と多い。

５ 特色のある教育

教職員	地域の環境や人材を生かした教育や、「歌の学校」などの特色のある教育を進めている。
保護者	学校は、地域の環境や人材を生かした教育や、「歌の学校」などの特色のある教育を進めている。
児童	西小学校の先生以外の人から学ぶ時間や、歌声集会などがあってうれしい。

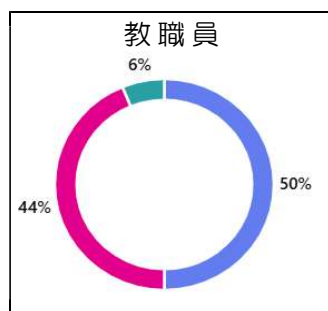


【分析】

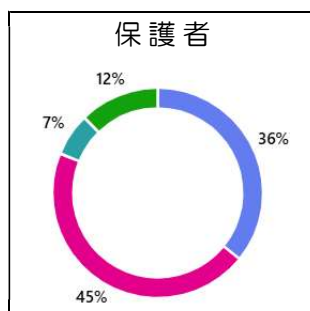
- ・教職員の９４％（前年度８３％）、保護者の９８％（前年度７８％）、児童の８９％（前年度８１％）が肯定的回答をしており、三者とも高い数値を示している。（※質問内容が多少異なるので単純比較はできない）
- ・強肯定が三者とも６０％を超えている。
- ・児童の１１％が否定的回答となっており、教職員や保護者回答よりもやや多い。

6 専科（外国語）

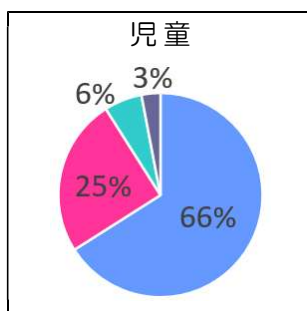
教職員	専科教員やＡＬＴによる外国語の授業の充実に努めている。
保護者	学校は、専科教員や外国語指導助手による外国語の授業の充実に努めている。
児童	外国語の先生たちとの授業で、外国語を楽しく学ぶことができている。



3.44



3.33



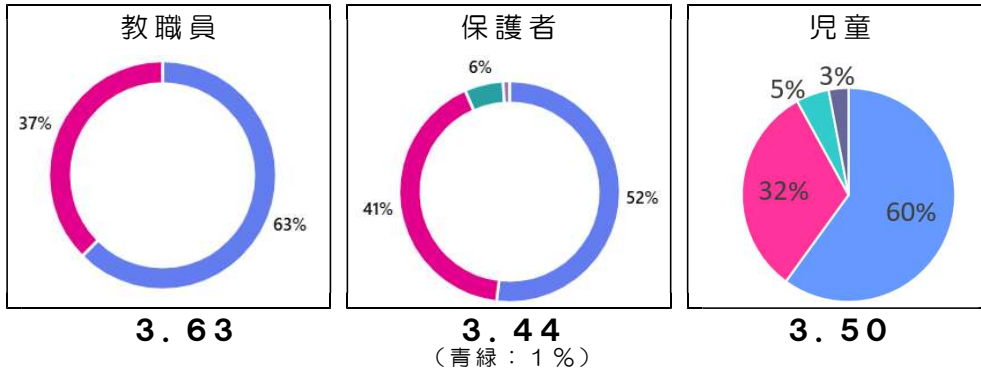
3.54

【分析】

- ・肯定的回答は教職員が９４％（前年度９４％）、保護者が９２％（前年度８０％）、児童が９１％（前年度９２％）で、保護者数値が前年度よりも上昇している。
- ・児童の３分の２が強肯定となっており、楽しく学んでいる児童が大多数であることが分かる。

7 挨拶返事（キャッチフレーズ）

教職員	相手を意識した挨拶や返事の指導に努めている。
保護者	家庭では、相手を意識した挨拶や返事の仕方を教えている。
児童	自分からあいさつや返事をしている。

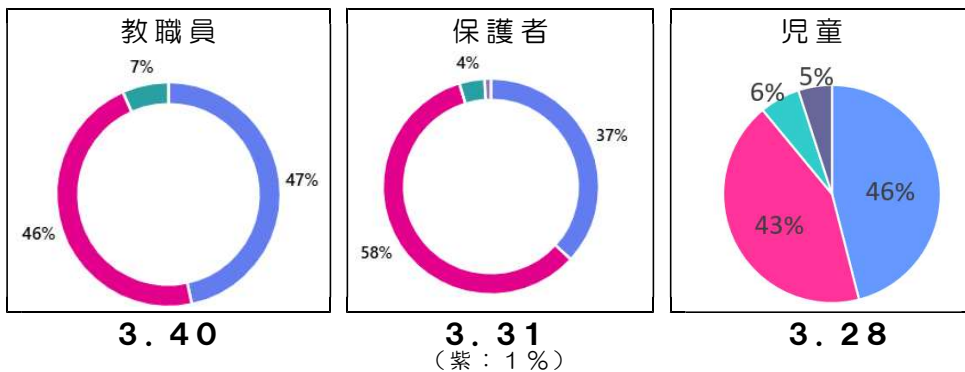


【分析】

- ・教職員の肯定的回答が100%（前年度89%）、保護者は96%（前年度79%）と大きく上昇した。児童は92%（前年度91%）で前年度と同等。（※保護者質問の文言は、今年度は「家庭では」。前年度は「学校は」で設定。）

8 生活習慣

教職員	家庭と連携して、望ましい生活習慣が身に付くような支援や取組をしている。
保護者	家庭では、お子さんに、望ましい生活習慣が身に付くよう教えている。
児童	きそく正しい生活ができている。（はやね・はやおき・朝ごはん・メディア時間）

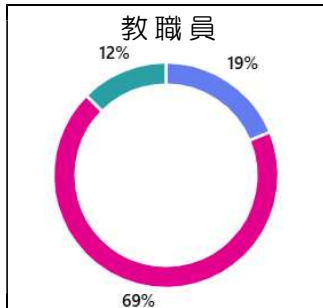


【分析】

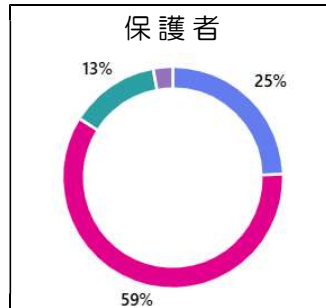
- ・肯定的回答は、教職員94%、保護者95%、児童89%となり、概ね高い数値となっているが、児童の否定的回答が教職員と保護者に比べてやや多い。

9 学習習慣

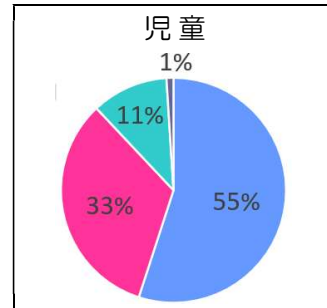
教職員	家庭と連携して、望ましい学習習慣が身に付くような支援や取組をしている。
保護者	家庭では、お子さんに、望ましい学習習慣が身に付くよう教えている。
児童	宿題や家庭学習をしっかりとやっている。



3.06



3.06
(紫：3%)



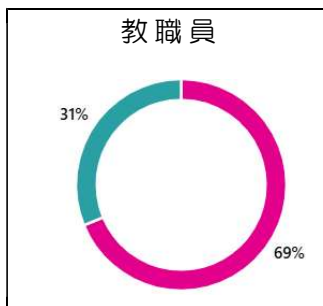
3.41

【分析】

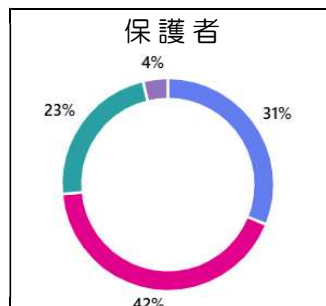
- 肯定的回答が、教職員88%（前年度83%）、保護者84%（前年度85%）、児童88%（前年度77%）となっており、教職員と児童で数値が上昇した。
- 他の質問項目と比較し、3者とも否定的回答が多い。
- 教職員と保護者の強肯定が少なく、平均値も他の質問項目と比べて低くなっている。
- 児童の強肯定の割合が、教職員と保護者に比べて倍以上となっており、捉え方の差が大きくなっている。

10 運動習慣

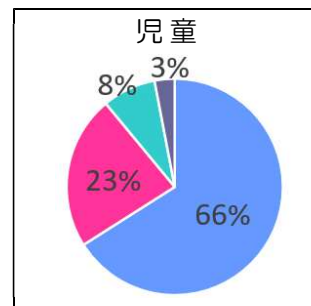
教職員	家庭と連携して、望ましい運動習慣が身に付くような支援や取組をしている。
保護者	家庭では、お子さんに、望ましい運動習慣が身に付くよう教えている。
児童	学校や家でよく運動をしている。（あそびや習い事もふくむ）



2.69



3.01



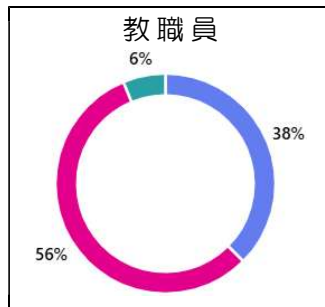
3.52

【分析】

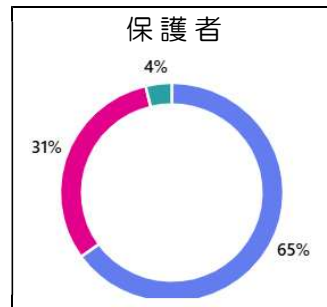
- 肯定的回答が教職員69%、保護者73%と他項目に比べて低い数値となった。一方児童は89%で、強肯定も66%と高かった。

1 1 情報発信

教職員	家庭や地域に学校の公開や情報発信を積極的に行っている。（学校行事や授業参観、学校便りや学年通信等）
保護者	学校は、家庭や地域に学校の公開や情報発信を積極的に行っている。（学校行事や授業参観、学校便りや学年通信等）



3. 3 1



3. 6 1

【分析】

- 肯定的回答は教職員が94%（前年度100%）。保護者は96%（前年度85%）で大きく上昇した（若干の質問文言変更あり）。

【保護者の意見と学校の見解】

保護者の意見（記述内容）を整理・要約し、学校の見解と併せて以下に掲載します。

○学校のよい点・感謝等

1. 教師の指導、学校の風土、子供の成長等

- 毎日楽しく学校に行けていること、お友達や先生を好きでいることがありがたい。学校の子どもたちとの関わり方や向き合い方が大きいのだと感じている。決して優しいだけの指導ではないことも承知しており、そこに対しても信頼している。時には厳しいことを受け止める力も必要であり、愛を持ってきちんと伝えなければいけないことを伝えてくれる先生方に感謝している。
- 学年1クラスと少人数だからこそ、きめ細やかな対応をしてくれており、ありがたい。
- 担任の先生が、子どもたちのよいところをよく見てくれている。相談もしやすそうなので安心して預けられる。
- 特別支援学級ですが先生との距離が近く、個人の成長や変化を見てもらえるのでとてもありがたい。植物を育てたり色々作ったりと生きる上で必要な事を知ったり学んだりできており、子どももいつも楽しそう。
- 人数が少ないからこそ先生が目が届き、問題もすぐ行動していただけて親としてはとても有難い環境であると感じている。子ども達もののびのび活動でき、学年の壁を超えて遊ぶことができるのがとてもよい。
- 自分で考えて勉強したノートを先生が見てくれてコメントまで書いてくれるのを子どもは喜んでおり、ありがたい。
- 1年生の頃からいい先生に恵まれながら通わせてもらっていると感じている。子ども

たちを第一に、厳しくも楽しく指導していただいております先生同士協力して子どもたちへの教育もしていただいておりますので、とてもよい影響を得ながら学校生活を送れていると感じている

- 子どもが校長先生に、相談したところ、何度も声掛けをしてくれたようで、先生方だけでなく、校長先生も子どもたちを気にかけて下さっていることを知り、心配が減った。感謝している。
- 先日の宿泊研修では先生方の温かな引率ご指導のおかげで、貴重な体験や思い出ができた。出発時の学校全体での見送りや、帰りにも先生方が揃って迎えに出てくれていて、とても温かな学校だなと思い、親としてもとても嬉しく感じた。
- 担任の先生が子どものよいところを見つけ褒めてくださるので子どもが自信をもって学校生活を送れている。
- 担任の先生の授業や行事やその他の万全なサポートがあるので安心して通わせていただいている。
- 宿題に、いつも先生からの一言が書かれているのが温かい。親も色々知ることができ、助かっている。
- 先生方に指導力があるので学校全体が落ち着いている。
- 朝の登校時に校長先生が門で挨拶をしてくれて子ども達を安心して預けられる。
- 宿泊研修出発時に、窓から他学年の子どもたちがお見送りしてくれた。西小ならではの心の豊かさを感じた。
- 先生達のおかげで楽しく学校に通えているのがとてもよい。
- 授業でもわからないところは理解するまで教えてくれるので、児童にしっかり寄り添ってくれてありがたい。

2. 学校生活や教育活動、学習環境のよさ等

- 一学年一学級と人数は多くないが、その分、上の学年が下の学年の手伝いをするなど、他の学年の子どもたちとの交流があり学校全体の仲のよさが伝わりとてもよいと感じている。
- 歌学習にも力を入れてくれているおかげか、年々上手くなってきていて、よく家で踊りながら楽しそうに歌っている。
- 子どもたちが伸び伸びと発言できる環境が素晴らしい。勝ち負けにこだわらず一人一人が楽しめる運動会もよかった。
- 全校生徒で取り組む行事（金曜日の合唱や一年生を迎える会など）を設けていることはとてもいい取組だと思う。学習面については、習慣化できる取組を学校と家庭とで協力して進められたらと考える。
- 学年の垣根なく仲良しな様子が素敵だと思う。家では他学年のお友達の話もしてくれる。お世話する、される双方の気持ちを学ぶことができ、相手の気持ちを想像することに繋がると良いなと思っている。縦の繋がりは西小ならではのと感じている。
- 「歌の学校」を意識しており、家庭でも話題に出るのほどなのでいい取組だなと思う。
- すみれ学級と通常学級の交流をしてもらっているのはとても助かっている。参観日でも交流の姿を見られたらなと思う。
- 子どもたちが実際に見て、肌で感じる事が出来るイベントが今年は多くてとても良い。そういう実際の体験の中に、たくさんの学びが詰まっていると思う。職員から出た提案がきちんと形になるというのは素敵だと思う。
- 毎週全校で歌の時間を作っているのは、他の学校には真似できない西小ならではの取組なので、これからも続けてほしい。子どもたちも歌うことへの抵抗が全くないこと

が発表会などを見ていて感じる。子どもたちだけでなく先生たちも一緒に取り組んでいることも素晴らしいことだと思う。先生達の合唱も学習発表会などのプログラムに入れてほしい。学習面では、学年が上がり教科も増え大変になったが、普段の勉強の取組の成果がテストの結果に表れた時に、少しだけ達成感を感じることができるようになっていと思う。宿題や家庭学習についても本人が進んで取り組めるようになった。西小のような唯一無二の学校が数年後に廃校になるのは残念でならない。これからも学校生活を楽しんでほしい。

- ・宿泊研修で普段なかなかできない体験をたくさんできたことは本人にとって貴重な経験になった。全てが楽しかった、また、みんなで行きたいと話していた。残り少ない学校生活をこれからも楽しんでほしい。

〈学校から〉

本校の教育に対し、理解と信頼をいただいていることに感謝申し上げます。保護者の皆様からいただいた、励ましや感謝の言葉を励みに、後期の教育活動の充実につなげてまいります。特に、小規模校ならではのきめ細やかな指導や異学年交流、温かな学校風土を評価される意見を多数いただきました。全教職員で共有し、今後も丁寧な指導を継続してまいります。

○学校の改善点、その他

1. 外国語活動・外国語の授業について

- ・もっと英語に関わる授業を増やしてほしい。
- ・外国語授業でどのようなことを行っているのか、知る機会が少ないと感じる。

〈学校から〉

外国語活動（3、4年生）と外国語（5、6年生）については、1年間に行う授業時間数が決められています。外国語活動は35時間。外国語は70時間となっており、計画に基づいて授業を行っています。

外国語の授業を見ていただく機会を設けたいと考えます。ただし、専科教員は複数校を兼務している都合から、今年度の参観日に合わせての授業公開は調整が困難なため、別日に外国語の授業を見ていただく機会を計画していきます。

2. 運動会について

- ・運動会がさみしい感じがした。
- ・2年連続玉入れは、残念だった。
- ・全校リレーとかもっと競技を増やしてほしい。赤組、白組で点数をつけて対決とか盛り上げてほしい。
- ・記念の運動会、親の競技を増やすのではなく、子どもの競技を増やした方がよかった。
- ・運動会の玉入れは卒業生や親が参加できてとても楽しい雰囲気だった。
- ・親参加の玉入れは、とても盛り上がっていて楽しかったので来年もあるといい

〈学校から〉

運動会も教育活動の一環であり、子どもたちに必要な力を身に付けるための内容をバランスよく行うよう計画しております。また、年間の授業時間数が決められており、体育科で行える運動会練習の時間にも限りがあります。その中で、子どもたちが力を発揮していけるよう工夫しながら進めていきたいと考えております。ご理解のほど、よろしくお願いいたします。なお、親子競技につきましては、150周年記念種目のため、次

年度以降は実施しない予定であることを申し添えます。

3. 子どもたちへの指導等について

- ・子どもへ指導する際に、なぜ悪かったのか、今後どうしていったらいいか等を理解させるような指導をしてほしい。また、問題が起きた際に学校との連携、連絡がもう少ししっかりできると子供も保護者も不安が少なくなるのでは、と思う。
- ・放課後の公園での遊び方や、自転車の乗り方などに危険な場面や使い方が悪い様子が見られる。今一度、指導してほしい。

〈学校から〉

子どもたちが、正しい判断や行動をとれるよう、日々の指導を継続していきます。また、学校と家庭がより連携して、子どもたちの健やかな成長を支えていきたいと考えております。

放課後の過ごし方につきましても、日々、安全指導や使い方の注意等を行っているところです。また、放課後は学校の管理下外であることをご理解いただけると幸いです。各家庭において放課後の過ごし方をお子さんと確認されますようお願いいたします。

4. その他

- ・参観日に、親とのお楽しみ会のようなものがある学校もある。感染症も落ち着いているので、参観日でももっと新しいこと、子どもが楽しい思い出と思えることをしてほしい。
- ・子どもは、教室が暑いので、「エアコンがあるといいなあ」と言っている。
- ・数年前まで夏休みにプールを開放していたと思いますが、日にちや時間を指定して数日でも開放することはできないか。

〈学校から〉

- ・参観日は、「子どもたちの学校での学びの様子を保護者の方々に見ていただく」ことを目的としております。親子レクにつきましても、保護者の方から要望があった場合、内容や時間等を学級担任と相談の上、実施が可能です。（学級担任が主体となつての準備、実施は想定しておりません）
- ・エアコンを含めた学校環境の整備については、市教育委員会へ要望を挙げております。
- ・学校プールの夏休み中の開放につきましても、管理運営上難しい面があります。子どもたちのために開放したいところではありますが、ご理解いただけますと幸いです。

たくさんのご意見、ありがとうございました。